

「あおもり縄文ひろば」を含む応募作品一覧

愛称	愛称の説明や込められた思い
ALL AOMORI縄文広場 A.W.J	最後のA.W.Jは、青森(A)ワイワイ(W)縄文(J)広場という意味で、青森県全体の縄文遺跡を皆んなで「ワイワイ」楽しく知って欲しいという思いが込められています。
AOMORIじょ～もん広場	青森は青森ワッツなどカッコいいイメージがあるので、「青森」を英語にして、皆が呼びやすいようじょ～もんにして、「AOMORIじょ～もん広場」にしました。
GO縄文広場AOMORI	駅から縄文を発信して行ってほしいから。
あおいもり縄文広場 まるじょも	施設が回遊できるようになっていて、丸いイメージは心を安心させてくれる感じがしたので、丸と縄文を組み合わせ「まるじょも」という名前を考えました。青森県産のりんごのような丸い気持ちになれる施設となるようお願いを込めました。
あおもりJOMONのまち広場	この施設で子供や大人に、興味を持ってもっと縄文時代の暮らしについて楽しみながら学んで欲しいという願いを込めて考えました。さらに、この愛称を使ってこの先全国や世界中にもっと青森県の魅力が伝わって欲しいです！
あおもり縄文つながる広場	青森を平仮名にし、わかりやすく、また、"あおもり駅"と同じく親しみやすい表記にしました。ここから8つの遺跡や北海道や北東北との遺跡とつながり、そして青森県、世界の皆さまとつながってほしいという想いを込めて、つながる広場といたしました。多くの人がつながり、親しまれる広場を目指して！
あおもり縄文ふれあい広場 わらーい	縄文のわらからイメージ、外国の人も覚えやすい、気軽に行ける雰囲気。
あおもりじょーもんふれあい広場	ジオラマや魚釣りゲームなど縄文をふれあえる広場になってほしい
あおもりほっこり 縄文広場	みんなが集まってほっこり落ち着いて居られるような縄文文化発信の広場になってほしいから。
あおもり縄文おもしろ広場	青森にある8つの縄文遺跡の情報をこの広場を通じて発信し、おもしろさを体験してほしいからです。
あおもり縄文スリッパ広場	世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する、青森県内の8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する「青森の縄文遺跡群情報発信拠点」を、古代にタイムスリップ（現実の時間・空間から、過去や未来の世界に瞬時に移動すること）して、県の豊かな文化遺産である縄文文化を旅気分です、見て、知り、発見する喜びを体感できる場”として、県民の方々に触れていただく機会を増やすとともに、県外からの青森への観光誘客・周遊につながることを目指し、多くの人々から末永く愛されるよう、親しみやすく命
あおもり縄文すれ違い広場	先程投稿したものを、柔らかい語感に意識したものです。こういうタイプのネーミングも提案させていただきます。

あおもり縄文タイムトリップ広場	世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する、青森県内の8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する「青森の縄文遺跡群情報発信拠点」を、古代にタイムスリップして、県の豊かな文化遺産である縄文文化を旅気分で、“見て、知り、発見する喜びを体感できる場”として、県民の方々に触れていただく機会を増やすとともに、県外からの青森への観光誘客・周遊につながることを目指し、多くの人々から末永く愛されるよう、親しみやすく命名いたしました。
あおもり縄文っ子ふれあい広場	縄文遺跡群という世界遺産が青森県民の子供たちのすぐ近くにあり、いつでも触れ合える環境にあることから名付けました。この施設が賑わって欲しいので、ふれあいと付けることで親しみのある場になりやすいと思い、愛称を付けました。
あおもり縄文トリップ広場	世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する、青森県内の8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する「青森の縄文遺跡群情報発信拠点」を、古代にタイムスリップして、県の豊かな文化遺産である縄文文化を旅気分で、“見て、知り、発見する喜びを体感できる場”として、県民の方々に触れていただく機会を増やすとともに、県外からの青森への観光誘客・周遊につながることを目指し、多くの人々から末永く愛されるよう、親しみやすく命名いたしました。
あおもり縄文パノラマ広場	世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する青森県内の8つの縄文遺跡に関する情報を、パノラミック（「panoramic」は英語の形容詞で、全景を表し、また、全体を見渡すことができるという意味を持つ言葉）に発信する施設、「青森の縄文遺跡群情報発信拠点」を、県民の方々に触れていただく機会を増やすとともに、県外からの誘客につながることを目指し、多くの人々から末永く愛されるよう、親しみやすく命名いたしました。
あおもり縄文わくわく広場	ゆったりとしたリラックス空間になるように。親しみを込めて考えました。
あおもり縄文広場 まぎ	津軽弁で『まぎ』は『親子まぎ』など親族、一族を表す言葉として使われることから、青森が誇る縄文遺跡群もどこかで繋がっていたはず！と思い、施設の名称を『あおもり縄文広場 まぎ』にしました。また、木製のテーブルなどが置かれているため、津軽弁で薪のことを『まぎ』と言うことから、『まぎ』がいいと思いました。短い愛称なので国内外みんなに覚えてもらえると思います。
あおもり縄文広場じょうもんど	モンドは、たくさんの・世界という意味なので縄文時代の物をたくさん揃えて楽しませて頂ける素敵な場所を表しました。名前画数占い結果は、総画数65大吉です（いい名前ねっと検索）。ご検討頂けましたら幸甚です。
あおもり未来縄文広場Jomontureジョモンチュア	縄文から未来へと続く青森県を表す造語です。その拠点となる広場となるように。ここから青森新時代が始まります。
カモン！じょ～もん！！アオモリ広場！	青森の縄文のことにいろいろな人が集まってほしいからです。

どきどき発掘!広場 青森Jomon	どきどき発掘!の『どきどき』は、胸の高鳴りと縄文土器の『どき』を掛けたものです。『縄文』の英語表記は『Jomon』ですが、読み方は『じょうもん』ではなく、『じょもん』と読みます。その方がかわいくて親しみやすいと思ったからです。この施設に来て、ドキドキワクワクしながら縄文遺跡について様々なことを知り、楽しさを発掘できるような場所になればいいと思います。
ほっこり じょうもん広場あおもり	木や土のほっこりした温かさをイメージしました。
みどりのさと あおもりJOMON広場	幅広い年齢層に愛されるよう、わかりやすいネーミングを考えました。自然豊かな青森県を前面に押し出せるように、緑の郷をあえてひらがなで表現したこともポイントです。
集マロン 青森縄文広場	みんなが集まる場所になったらいいなという思いから「集まろう」、三内丸山遺跡では栗を食べていた形跡や栗の木を使った建築物などがみつかることに関連づけて栗を想像したので英語で「マロン」。この2つを組み合わせると集まろう×マロン(栗)で「集マロン」(あつまろん)という言葉を考えました。
青い森じょうもん広場 DOKIDOKI	土器からドキドキをかけました。
青い森の縄文広場「kokon」古今	昔を知るコミュニティセンターとして沢山の人達に活用してもらいたいです。
青い森ふるさと縄文広場	豊かな自然環境で県名の通り青い森のイメージと祖先である縄文時代の方々に思いをふるさとという言葉で表現しました。
青い森縄文広場 dokidoki	青森県から縄文の情報を発信する拠点として、みんながどきどき、ワクワクするような施設にしていきたいという願いでつけました。
青い森縄文情報いこいの広場	多くの人の頭に残るようなキャッチフレーズにしたいと考えた時韻を踏もうと考え、縄文と情報で踏みました。これを機に多くの人を訪れることを願います。
青森JOMO 広場	青森にたくさんの輪が広がり、集える、人と人が交わり青森の良さを発信していければと願いを込めて。
青森じょ~もん情報発信広場 わんじょいっ!	わんどが縄文情報を集めたり写真を撮ったりしてエンジョイする場=略して“わんじょいっ!”です。まずは地元の人達に愛される施設になってほしいという願いを込めて、わんどの「わ」の響きから始めました。またエンジョイの「じょい」を入れることで、国内外の方に楽しそうなイメージが伝わればいいなと。あと最後の「っ!」は掛け声っぽくして青森県民の勢い・エネルギー溢れる土地柄を表現してみました。(私は三内丸山遺跡で巨大な柱跡を目にしたときに、ここは人も土地も縄文時代からエネルギー溢れていたんだろうな、と感じました)
青森じょうもん広場	青森県内8つの縄文遺跡に関する情報を一体的に発信する施設の意で、名付けました。
青森わくわく縄文広場	わくわくする縄文の情報を得られる広場なので。誰にでも分かりやすいように簡単な言葉で構成しました。
青森土器ドキッ縄文広場	青森縄文の土器が有名だから土器といった時に色んなのをみたり体験するドキドキ感をかけました。

青森縄文広場	青森縄文広場のいみは青森が青森にあるからで縄文はじょうもんです。
青森縄文広場 JOMOLOVE	縄文時代はとても平和な時代だったと言われています。縄文人はとても愛のある人たちだったのでしょう。今こそ縄文の愛を世界に知らしめす時かもしれません。縄文の愛=JOMOLOVE ここを訪れる人に青森縄文の愛を知っていただいて、世界中に縄文LOVEを広め、皆に愛される情報発信基地になる。
青森縄文広場 wakuwaku	縄文時代のことを知ることでわくわくした気持ちになって、青森を好きになってもらいたいからこの名前にしました。
青森縄文広場 じょー森	縄文のじょーと青森の森を使い、親しみを込めて付けました。
青森縄文広場 まほらっと	縄文時代は平和な時代が一万年以上も続いたとのこと。三内丸山をはじめ縄文人にとってはこの青森がとても素晴らしい場所=まほらだったに違いありません。今では津軽弁としての「まほらっと」という言葉がありますが、青森が素晴らしいすぎてきっと縄文人も「まほらっと」していたのだと想像します。そんな素晴らしい青森縄文の情報拠点となるよう祈念します。
青森縄文広場 縄文堂	何があるのかわかりやすいようにしました
青森縄文発信広場 じょもあお	縄文と青森をかけ、わかりやすい愛称にする事で色々な人に伝えられたらいいと思いました。
青森縄文発信広場 じょもリンゴ	青森の特産品と言えばリンゴ。青森の縄文とかける事で青森縄文を強調出来たらいいと思いました。
青森縄文発信広場 まるっと縄文	広場から青森縄文がまるっと発信出来たらいいと思いました。
誰もが集うAOMORI縄文広場	老若男女や日本人に関わらず沢山の人が集まる感じにしたかったのと、青森をあえてAOMORIにしたのは青森県で流行ってるご当地スタンドをイメージしました。
土器ッと青森JOMON広場	ドキドキワクワクしながらみんなが集まる場所になって欲しいからです。
土器土器(ドキドキ)！ A・J・H！(青森縄文広場)	簡単でわかりやすい方が良くかと思いました。
縄文いにしえ広場 あおもり	はるか昔の時代に、思いを馳せる思いで、いにしえ広場としました。
和の国 青の森 JOMON広場	日本の文化の歴史を国内外に発信するべく、青森を拠点に縄文を幅広く知ってもらい、愛される象徴となる広場にしたいから、命名しました。宜しくお願いします。